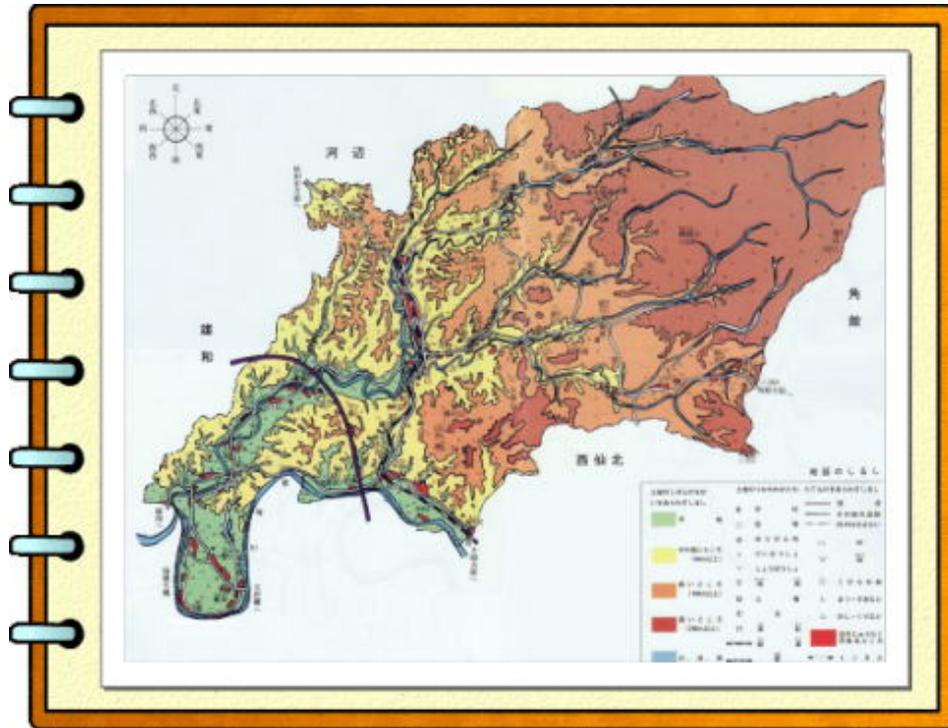


ふるさと学習のページ



地図：社会科副読本「わたしたちの協和町」第10版(協和町教育委員会…平成14年4月)より

協和町郷土カルタ

制作：協和町公民館（昭和59年3月）
協力：協和町仙人大学・協和町内各小学校
提供：進藤日出弥氏（荒川戌平）
復刻：山崎敏（第3代校長）

このカルタは、昭和58年度に、協和公民館が仙人大学のみなさんや、当時の6小学校の児童の協力を得ながら作成したもので、協和地域全域にかかわる自然や歴史・伝説、名勝・風物などが、実に生き生きと描かれています。統合以来、自分の住んでいる場所（足下）をよく知らない児童が増えています。このカルタを活用した学習を展開することで、ふるさとへの理解が進み、地域の方々との交流が深まっていけばうれしいことです。自由研究のテーマに、社会科や総合のフィールドワークの見学先に、など、多様な活用のしかたがありそうです。

紙芝居「大沼の干拓」

制作：小種小学校5・6年生（昭和61年8月）
原本：小種小学校閉校記念誌「小さな種から」より

大沼干拓の大事業は、当時淀川村長であった加藤金司氏の主唱により、大正末から昭和30年代まで、大きな困難を克服しながら行われたもので、協和の地域開発や稲作の歴史を語るとき、欠かすことのできないものです。また、小種地区は、毎年5年生が稲作体験学習を実施しているところなので、特に大切にしたい学習素材です。この紙芝居は、昭和61年度、当時の小種小学校高学年児童が作成したものです。